

令和6年春 国宝”姫路城での花見”

国宝姫路城は平成5年12月、奈良の法隆寺とともに、日本で初の世界文化遺産となりました。

シラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」の愛称で親しまれる姫路城。白漆喰総塗籠造りの鮮やかな白の城壁や5重6階地下1階の大天守と東、西、乾の小天守が渡櫓で連結された連立式天守が特徴で、桜とのマッチングが絶景です。

また、姫路城西お屋敷跡庭園「好古園」は市政百周年を記念して建造された約1万坪の日本庭園で文化財の保全と活用を兼ねた新しい文化の場として平成4年4月29日に開園しました。

日 時 令和6年3月27日（水） JR姫路駅改札出口 10時集合

参加費 3,500円（入場料・昼食代・ガイド代含む）

行程表 JR姫路駅→徒歩→大手前→姫路城見学→好古園

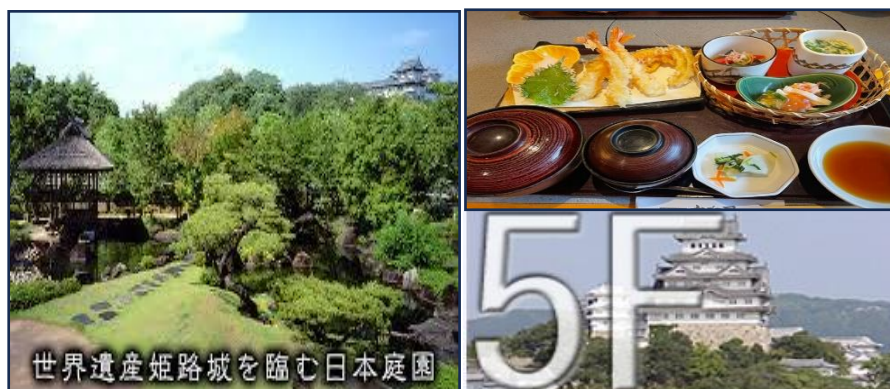
昼食（かごの屋）→イーグレひめじ（姫路城全景を見る）

解 散 15時30分予定

※参加希望者は、関西各支部事務局までお申込みください（申込締切3/10（日））。



姫路城と桜



世界遺産姫路城を臨む日本庭園

好古園

昼食イメージと姫路城全景